

次世代グローバルリーダー育成プログラム（NGGL） 受講生6名が「ワールド・スカルズ・カップ（WSC）」 世界決勝大会（イエール大学）へ出場！！

茨城県教育委員会主催の次世代グローバルリーダー育成プログラム受講生24名（中10名／高14名）が、5月に行われた東京大会を勝ち抜き、8月25日（金）～30日（水）タイ・バンコクのアクサラシアターほか数会場で行われた「ワールド・スカルズ・カップ（WSC）バンコクラウンド」に出場しました。この大会において、6名が世界決勝大会への出場権を獲得し、11月2日（木）～8日（水）の日程で、アメリカ・コネチカット州のイエール大学にて行われる同大会に出場予定です。

10月22日（日）に県庁にて行われる同プログラムの集合研修会に、世界決勝大会に出場する受講生も参加予定ですので、ぜひ御取材ください。



▲会場の様子（バンコク・アクサラ・シアター）



▲開会式の様子



▲大会参加者の集合写真

<出場決定者>

- | | |
|--------------------|------------------|
| ・井波 結実（常総学院高・2年） | ・杉本 文月（常総学院高・2年） |
| ・渡部 彩希（土浦第一附属中・3年） | ・黒澤 咲希（並木中等・3年） |
| ・村井誠太郎（茗溪学園・3年） | ・李 遊哲（谷田部東中・3年） |

<ワールド・スカルズ・カップとは>

ワールド・スカルズ・カップは、英語によって教養を競う総合競技であるとともに、世界約40の国と地域の中高生との交流を通じ、国際理解を深める貴重な機会です。日本では2012年に始まりました。ディベート、エッセイ、教養を問うクイズ、筆記試験などの種目があります。このほかにも、カルチャーフェアや一芸披露などの交流機会も多数用意されています。国内大会で上位に入賞すると、世界大会に参加する権利が付与され、世界大会で上位に入ると、イエール大学で開催される、世界決勝大会に参加する権利が与えられます。

<参加生徒の声>

- ・この先の人生を大きく変えたと言っても過言ではないほど自分の物事の考え方に影響がありました。（中3男子）
- ・非常に貴重な経験となりました。英語が話せるということが当たり前の大会で結果を残すということがいかに難しいかを実感させられました。他国の人と様々な交流の機会を持つことが出来て、とても幸せです。改めて支えてくれた家族や大会関係者、周りの方々に感謝をしたいと感じました。（高2男子）

※決勝大会出場者以外のコメントも含まれます。



▲カルチャーフェアで国際交流



▲ディベート会場にて



▲次世代グローバル人材育成プログラム活動レポート
 YouTubeにて公開中

■本資料についてのお問い合わせ

茨城県教育庁学校教育部義務教育課 指導担当課長補佐 長峰 正道 TEL029-301-5226